

多次元計測技術とデータサイエンスの融合による バイオイメージング・センシングの進展

The fusion of multidimensional measurement technologies and data science toward the progress of bioimaging and biosensing

2020/9/9 (水) 13:30~18:30 (予定) セッション T7

外部環境によってダイナミックに変化する、細胞・組織の形態や化学状態を包括的に捉え、理解するためには、物理情報に基づいた時系列データや化学情報に基づいたスペクトルデータ等の多次元計測技術と、多変量解析や機械学習などの多次元解析技術の融合が重要である。

本シンポジウムでは、マイクロ・ナノスケールにおける先進的なバイオイメージング・バイオセンシング技術や、画像データやスペクトルデータなどの高度な解析に取り組んでいる気鋭の研究者に講演を依頼し、一般講演も募集する。

これまでのバイオイメージング・バイオセンシング研究を、どのように進展できるのか、議論する場としたい。

招待講演者

- | | |
|---------------|--|
| 岡嶋 孝治 (北大) | “AFMによる細胞・組織の力学情報の定量化” |
| 小関 泰之 (東大) | “誘導ラマン散乱による多色分子イメージング” |
| 古寺 哲幸 (金沢大) | “バイオ高速AFMの性能向上と機能付加にむけて” |
| 舟橋 啓 (慶応大) | “ライブセルイメージングと深層学習を用いた胚発生過程定量システムの構築” |
| 安國 良平 (奈良先端大) | “フェムト秒レーザー誘起衝撃力に応答する細胞のメカノトランスダクション解析” |
| 横田 一道 (産総研) | “マイクロ流路・ポアデバイスを用いた物理指標に基づくがん細胞識別” |

世話人: 大塚 洋一 (阪大, 6.6)、渡辺 信嗣(金沢大)

プログラム調整役: 浅川 雅 (金沢大, 12.6)、笹川 清隆 (奈良先端大, 12.7)

問合せ先: otsuka@chem.sci.osaka-u.ac.jp (大塚)